

2008 年 6 月 24 日

各 位

SBSホールディングス株式会社

“第3回SBSグループ改善事例発表会”を開催！ ―改善活動の顕彰と改善ノウハウの共有化を図る―

SBSホールディングス株式会社（社長：鎌田正彦、本社：東京都墨田区）は、6月21日、東京ビックサイト国際会議場においてグループ各社より約650名が参加し“第3回SBSグループ改善事例発表会”を開催いたしました。

当発表会は、物流現場の効率と品質の向上を目指して取り組んでいる改善活動の一環として、日頃の活動成果の顕彰と改善ノウハウの共有化を目的に半年毎に開催しているものです。今回からは、前回のマスコミへの公開に加え、お客様にもご参加いただき改善成果を披露いたしました。

出場したのはこの半年間に活動した221の改善チームから予選会を勝ち抜いた10チーム。チーム毎に事業所紹介のビデオ放映後、15分間の持ち時間に工夫を凝らしたプレゼンテーションが次々と行われました。



【図や写真を使いより分かりやすい工夫されたプレゼンテーションが繰り広げられました】

	会 社 ・ 部 署	改 善 業 務	改 善 概 要
1	ティーエルロジコム(株) 舞浜センター支店	出 荷 作 業	家電量販店様向け3PL業務における欠品調査実績訂正作業のMH圧縮
2	東北ウイング(株) 仙台扇町営業所	配 送 作 業	日配品の配送業務におけるお客様配送コースの見直しによる空容器回収改善
3	SBSポストウェイ(株) 神奈川支店	仕 分 作 業	ダイレクトメール業務における仕分作業およびレイアウト見直しによる生産性の向上
4	ティーエルロジコム(株) 大崎シンクパーク営業所	仕 分 作 業	館内物流業務におけるメール便等の仕分方法の変更による作業時間の短縮
5	(株)全通 千葉個配 千葉南営業所	作 業 方 法	家庭への個別配達業務における作業方法見直しによるお届け品質向上と給油時の空走行距離削減
6	ティーワイ流通システム(株) 小牧営業所	ピッキング	通過型センターにおけるDAS内の動線短縮及び仮置き廃止等による生産性の向上
7	ティーエルトランスポート(株) 神奈川センター	仕 分 作 業	チルド商品仕分業務における次工程の小分け作業効率を考慮した大別け方法改善による全体生産性の向上
8	(株)総合物流システム 山城工場	生 産 加 工	店舗用ディスプレイ仕器等の販促備品生産におけるアクリル仕切板の生産工程改善による作業ロス撲滅
9	九州レック(株) 福岡支店	配 送 作 業	プライベートブランド牛乳配送業務における作業シフト見直しによる労務費・燃料費の削減
10	ティーエルロジコム(株) 横浜金沢支店	作 業 方 法	電車などの重量品輸送における人員シフト改善、エコドライブ推進等による自車損益の黒字化

発表終了後、審査員17名による選考により第1位（社長賞）から第5位までを決定。社長賞には、自車損益の黒字化に挑戦したティーエルロジコム株式会社横浜金沢支店重量品チームが選ばれ、鎌田SBSグループ代表による表彰と雨宮改善統括部長からの講評で幕を閉じました。次の発表会は、来年1月10日に開催する予定です。

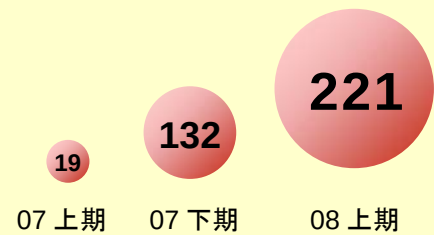
SBSグループは、これからも改善活動をさらに推進し、物流業務の効率化と品質向上に努め、お客様にローコストで高品質なサービスを提供してまいります。

■ご参考

＜SBSグループの改善活動の歩み＞

2006 年 11 月 グループ横断組織、改善統括部を設置
2007 年 1 月 改善活動の3カ年計画を策定
2007 年 6 月 第1回改善事例発表会を開催
2008 年 1 月 第2回改善事例発表会を開催
2008 年 4 月 改善マン育成教育 初級（上期分）開講
2008 年 4 月 全日本物流改善事例大会 2008 へ参加
2008 年 6 月 同上に於いて“物流合理化賞”受賞
2008 年 6 月 第3回改善事例発表会を開催
2008 年 7 月 改善マン育成教育 初級（下期分）開講予定
2009 年 1 月 第4回改善事例発表会を開催予定（1/10）

◎改善チーム数の推移



＜SBSホールディングス株式会社概要＞

本 社：〒130-0012 東京都墨田区太平 4 丁目 1 番 3 号 オリナスタワー11F

代 表 者：代表取締役社長 鎌田 正彦

設 立：1987 年

上 場：2003 年 ジャスダック証券取引所

資 本 金：38 億円 （2007 年 12 月末現在）

売 上 高：1,470 億円 （2007 年 12 月末現在、連結）

従業員数：4,160 名 （2007 年 12 月末現在、連結）

事業内容：SBSホールディングス株式会社を中核とするSBSグループは、1987年の創業以来、物流に関する事業インフラを全面的にご提供する「事業インフラプロバイダー」標榜し、お客様の利益創造に貢献してまいりました。グループ内には、食品から超重量物までさまざまな商品を扱う企業群、路線、区域、即日配送からメーリングまで多様な配送形態にお応えできる企業群、そして、物流施設開発（金融）、マーケティング、情報システム、環境物流などの専門的な企業群を有しております。これらグループ企業間のシナジー効果を追求し続けることで、SBSグループは常にお客様の成長を支える新しい物流サービスを創造し、ご提供してまいります。

U R L：<http://www.sbs-group.co.jp>

■本件に関するお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社

IR・広報部 早乙女 良之 TEL:03-3829-2240/e-mail:contact11@sbs-group.co.jp

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

以上